

Iwatani

**2021年3月期
決算説明会**

2021年5月21日

岩谷産業株式会社

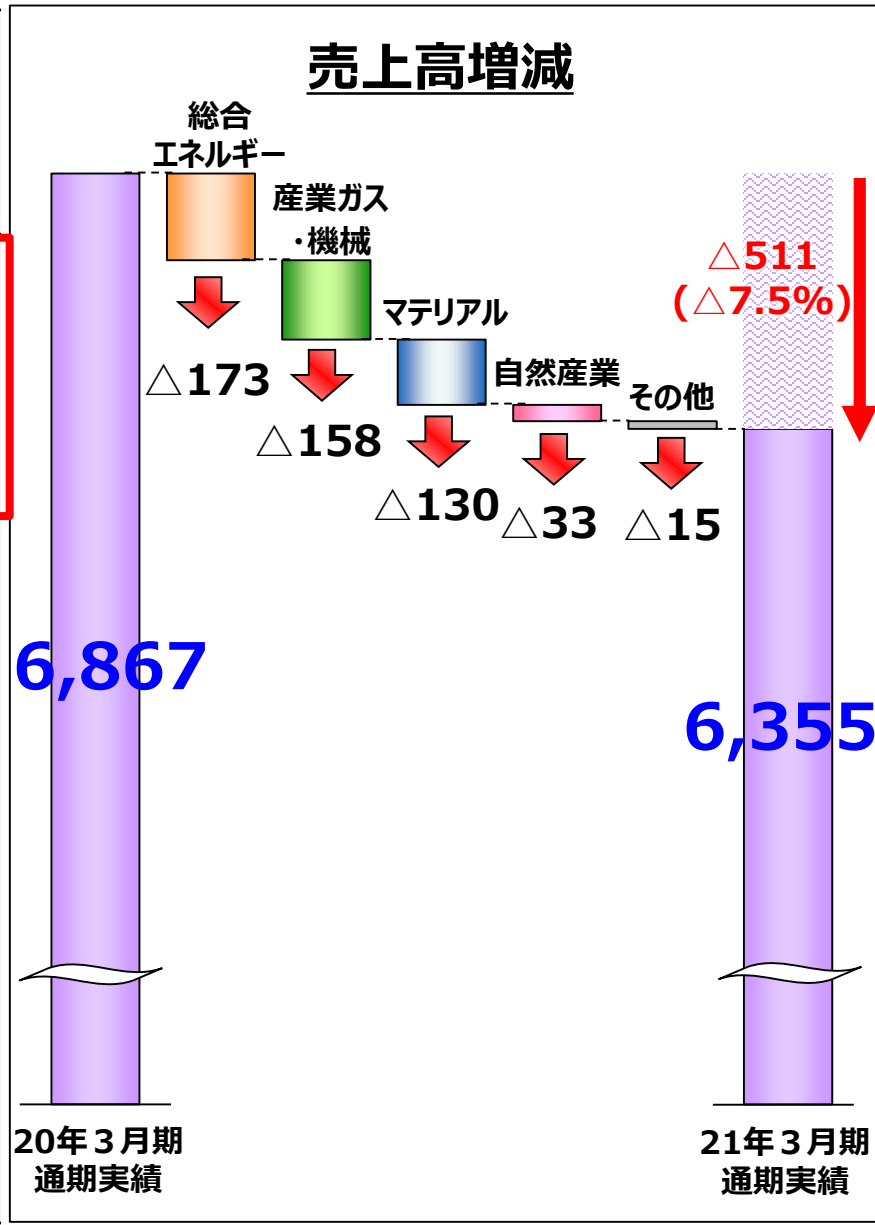
- 2021年3月期 決算概況
- 2022年3月期 通期業績予想
- PLAN20の達成状況について
- 事業トピックスについて

2021年3月期 決算概況

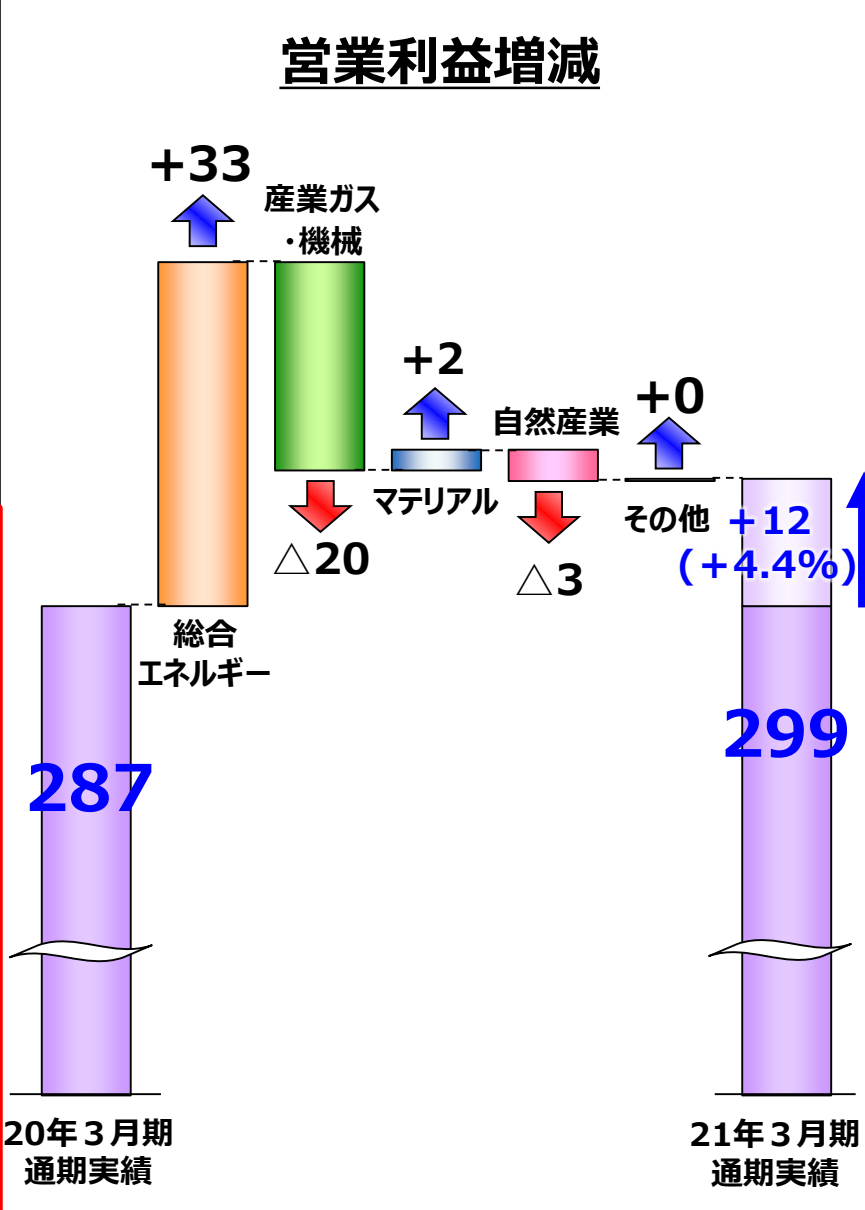
減収の要因分析

(単位：億円)

	2021年 3月期 実績	2020年 3月期 実績	前年差 (増減額)	2021年 3月期 通期予想
売上高	6,355	6,867	△511	6,775
売上総利益	1,768	1,762	+6	-
営業利益	299	287	+12	247
営業外損益	44	35	+8	29
経常利益	344	322	+21	276
市況要因を除く 経常利益	326	325	+0	276
親会社株主に 帰属する 当期純利益	232	209	+22	173



	2021年 3月期 実績	2020年 3月期 実績	前年差 (増減額)	2021年 3月期 通期予想
売上高	6,355	6,867	△511	6,775
売上総利益	1,768	1,762	+6	-
営業利益	299	287	+12	247
営業外損益	44	35	+8	29
経常利益	344	322	+21	276
市況要因を除く 経常利益	326	325	+0	276
親会社株主に 帰属する 当期純利益	232	209	+22	173



前提

①卸売価格は
L P ガス輸入価格に連動

②輸入～販売の期間は約 3 ヶ月

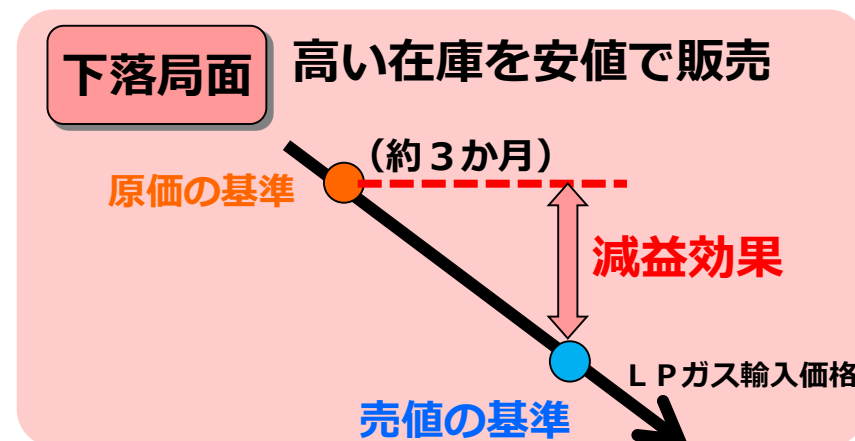
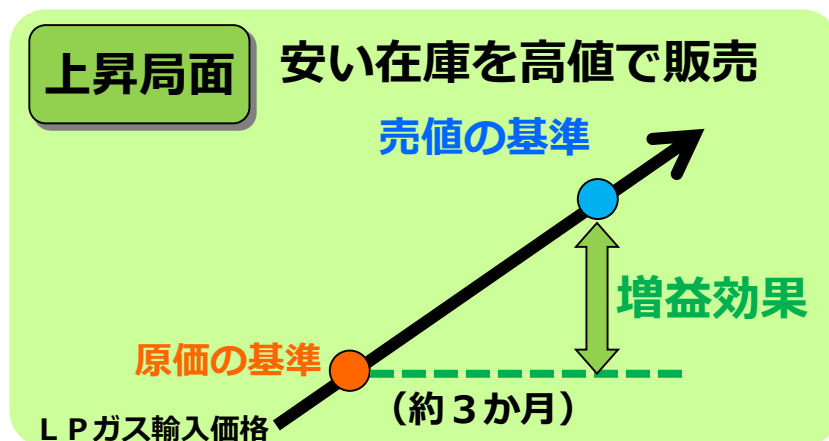
卸売価格 $\propto$ L P ガス輸入価格
(中東玉 (C P) と米国玉 (M B) で構成)



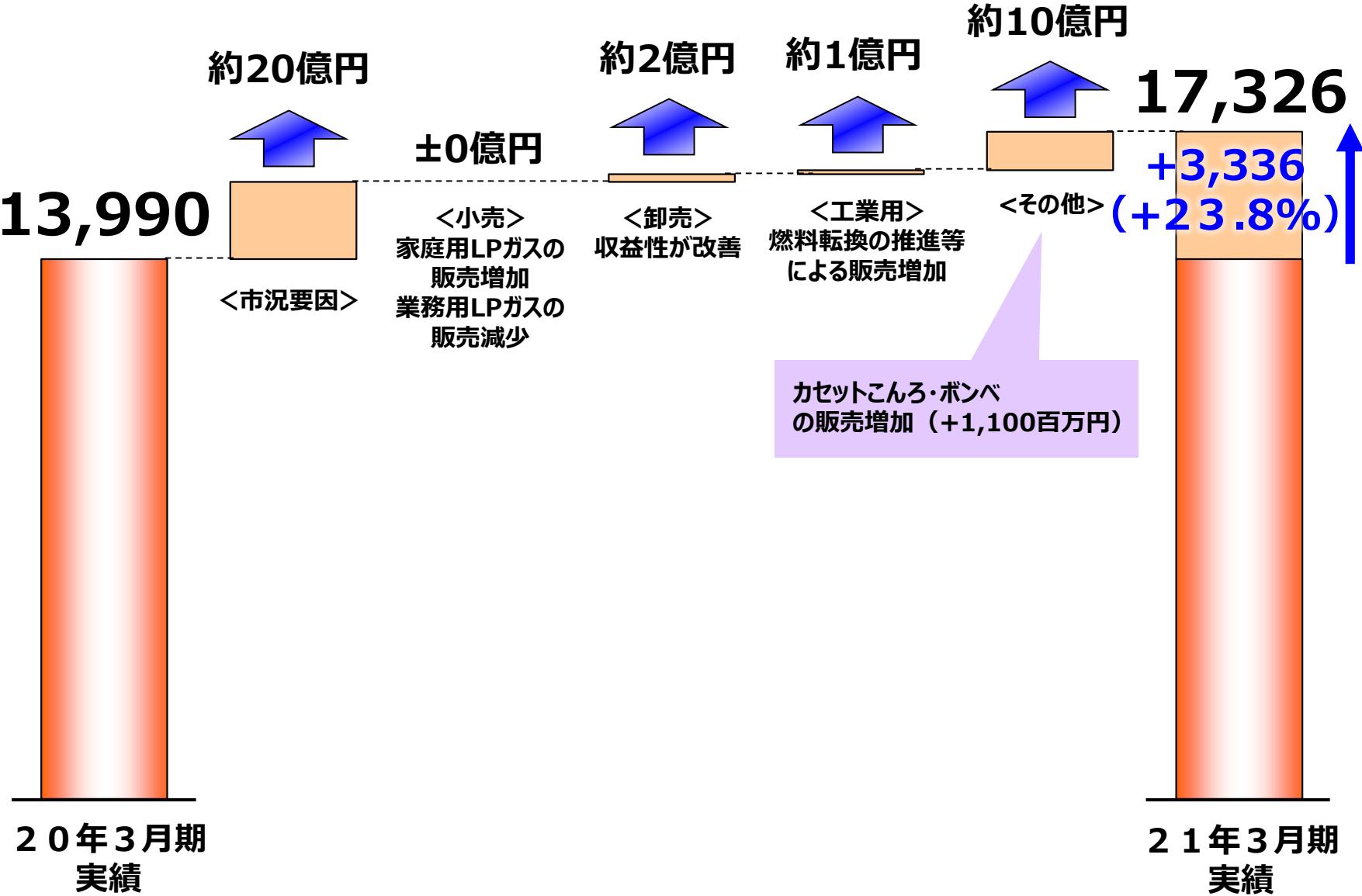
L P ガス輸入
価格が変動

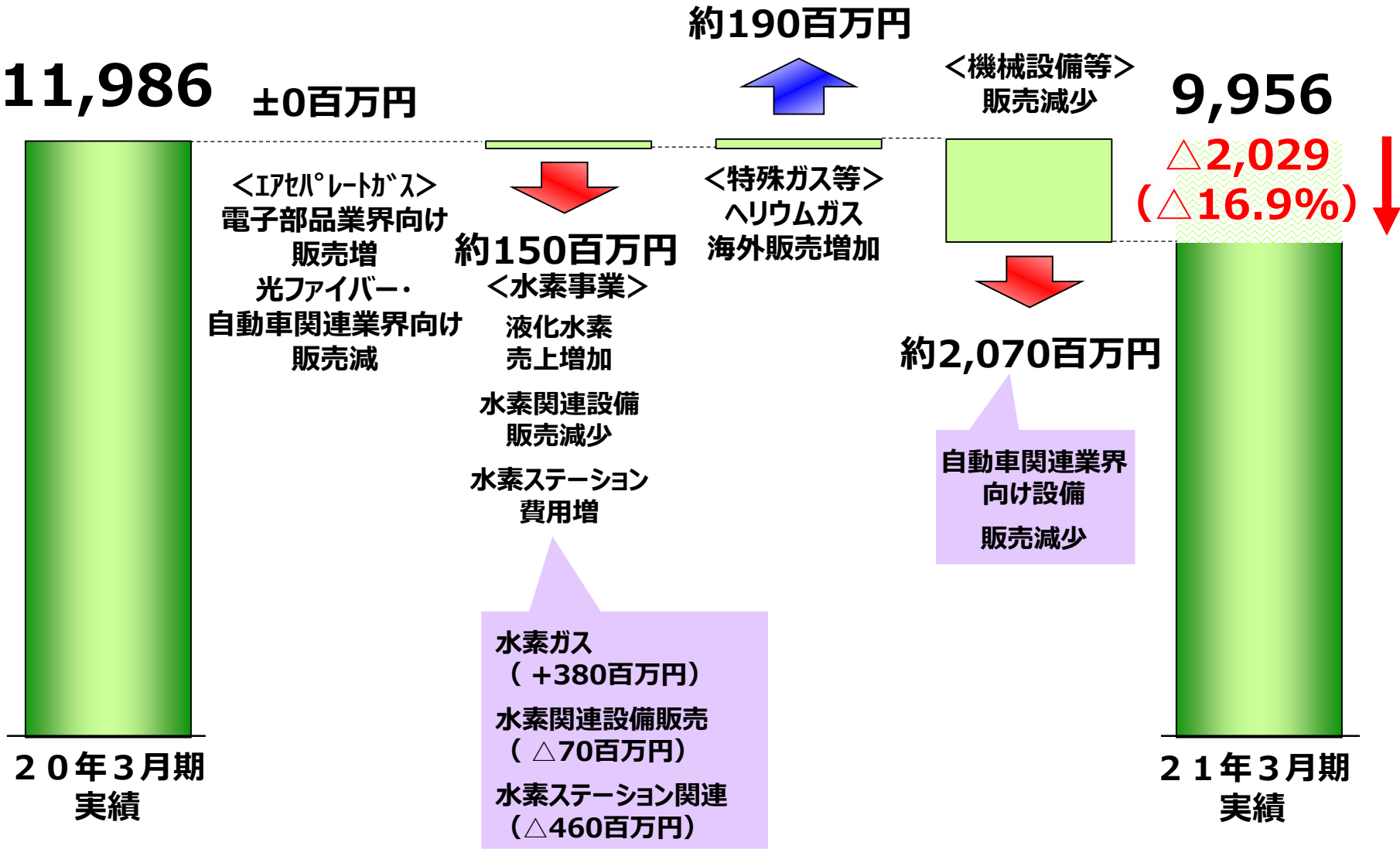
短期的に業績に影響が生じる（市況要因の発生）

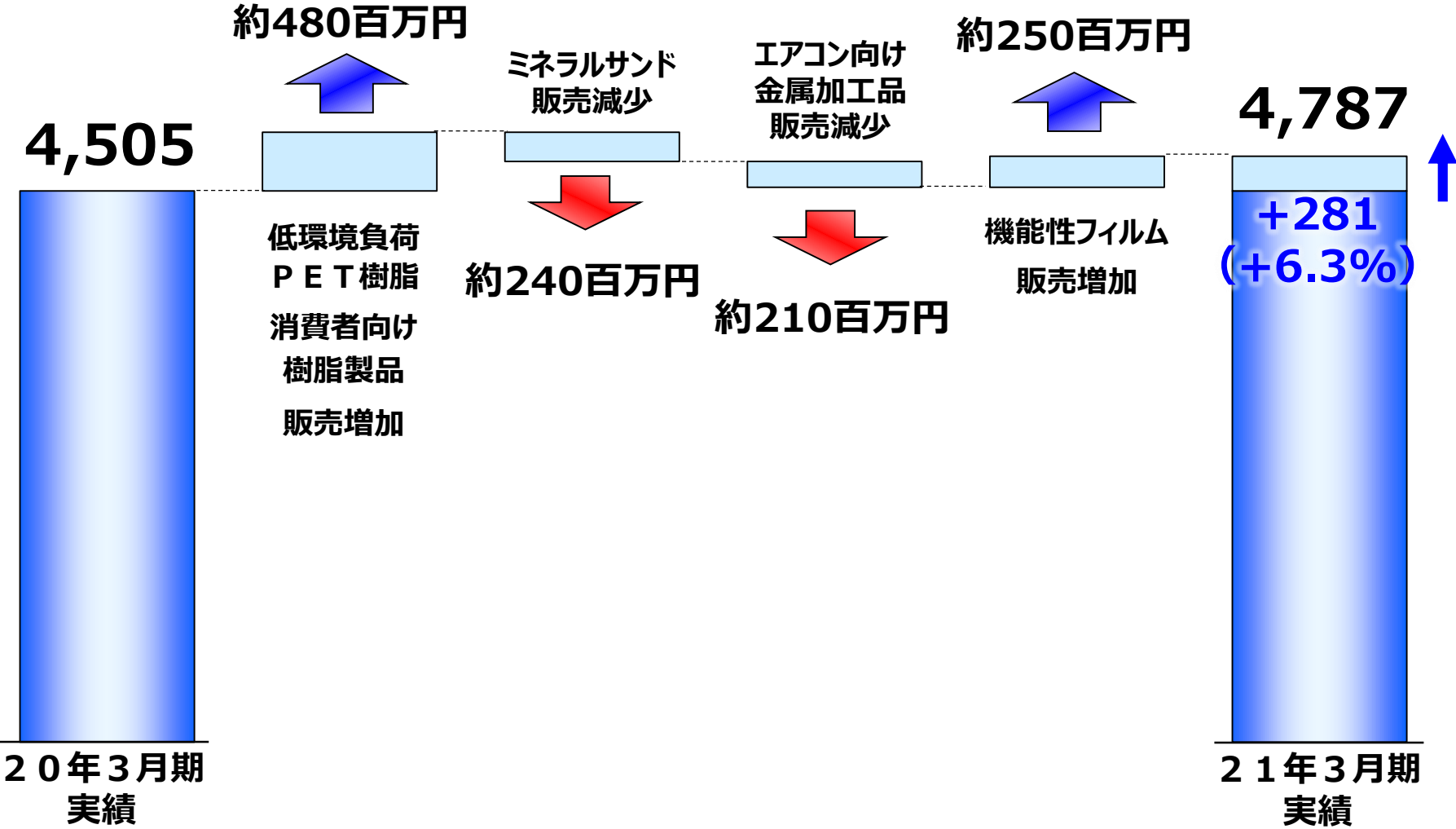
（L P ガス輸入価格が元の水準に戻れば影響はゼロ）※



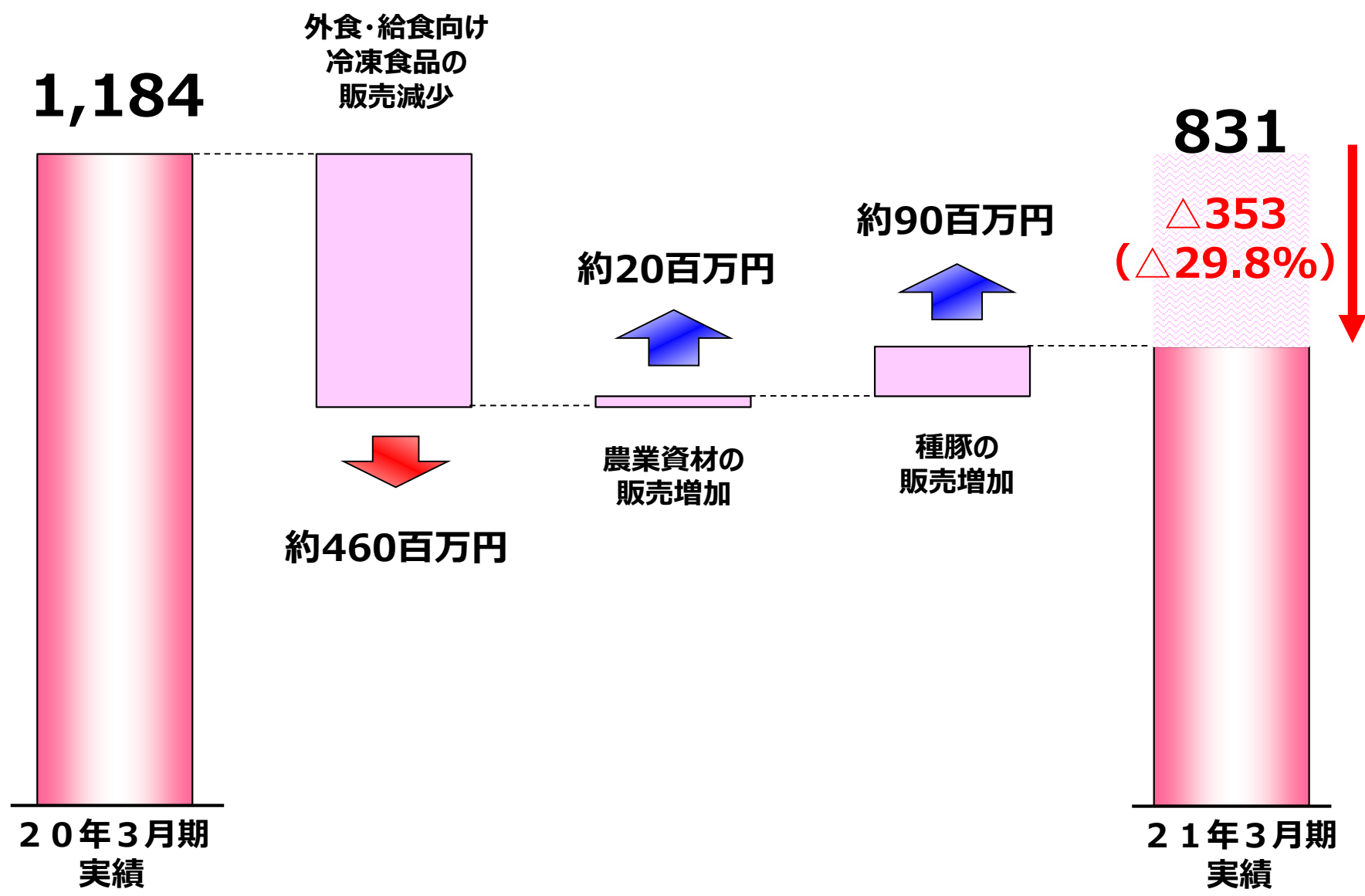
※在庫量・販売時期・販売数量等によって実際の業績への影響は変動します







自然産業事業 営業利益増減分析



貸借対照表（連結）

	2021年 3月末	2020年 3月末	前年差 (増減額)	主な増減理由・備考
流動資産	2,196	2,037	+158	現預金および売上債権の増加
有形固定資産	1,780	1,717	+62	水素ステーション建設やL Pガスセンターなどへの投資
無形固定資産	174	167	+7	
投資その他の資産	943	773	+170	保有株式の時価評価による投資有価証券の増加
固定資産	2,899	2,659	+239	
総資産	5,095	4,697	+398	
流動負債	1,709	1,911	△201	1年内償還予定の社債の減少
固定負債	866	874	△7	
負債	2,576	2,785	△208	有利子負債 961億円 有利子負債依存度 18.9%
自己資本	2,424	1,822	+601	自己資本比率 47.6%
非支配株主持分	94	88	+5	
純資産	2,518	1,911	+606	
負債・純資産	5,095	4,697	+398	

(単位：億円)

	2021年3月期 実績	2020年3月期 実績	前年差 (増減額)
営業キャッシュ・フロー	487	402	+85
投資キャッシュ・フロー	△288	△308	+20
フリー・キャッシュ・フロー	199	93	+105
財務キャッシュ・フロー	△70	△35	△34
換算差額等 ※1	4	△1	+6
現預金等の増減額 ※2	133	56	+77
現預金等の期首残高	251	195	+56
現預金等の期末残高	384	251	+133

※1 「換算差額」「連結の範囲の変更に伴う増減額」「非連結子会社との合併に伴う増加額」の合計を表示しております。

※2 「現預金等の期首残高」と「現預金等の期末残高」の差額を表示しております。

2022年3月期 通期業績予想

2022年3月期 通期業績予想

Iwatani

(単位：億円)

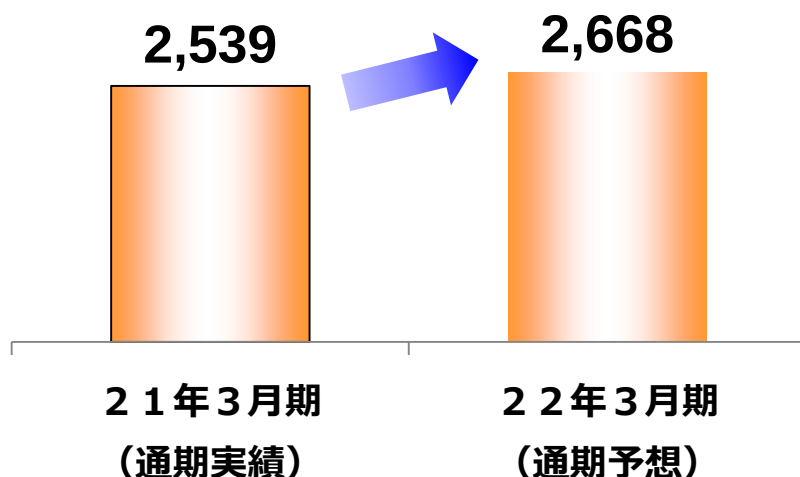
	2022年3月期 業績予想	2021年3月期 実績	前年差 (増減額)	前年比 (%)
売上高	6,261	5,626	+634	+11.3%
総合エネルギー事業	2,668	2,539	+128	+5.1%
産業ガス・機械事業	1,923	1,721	+201	+11.7%
マテリアル事業	1,342	1,118	+223	+20.0%
自然産業事業	284	203	+80	+39.8%
その他	44	43	+0	+1.3%
営業利益	320	299	+20	+6.7%
総合エネルギー事業	170	173	△3	△1.9%
産業ガス・機械事業	110	99	+10	+10.5%
マテリアル事業	53	47	+5	+10.7%
自然産業事業	12	8	+3	+44.3%
その他・調整額	△ 25	△ 29	+4	—
経常利益	365	344	+20	+6.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	243	232	+10	+4.7%

想定レート (上期) 為替 105円/\$ LPガス輸入価格 400\$/トン
 (下期) 為替 105円/\$ LPガス輸入価格 420\$/トン

※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」等を適用。2021年3月期売上高は「収益認識に関する会計基準」等を適用したと仮定して算出

売上高

(億円)



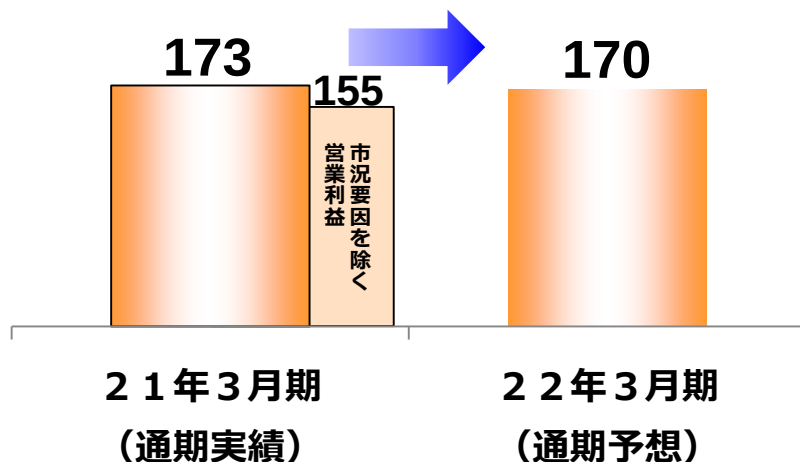
※2021年3月期の売上高は、「収益認識に関する会計基準」等を適用したと仮定して算出

通期業績予想の達成に向けて

- ・M & AによるL P ガス直売顧客数の拡大
- ・エネルギー関連機器の拡販
- ・国内外でのカートリッジガス事業の拡大、B t o C商品の拡販

営業利益

(億円)



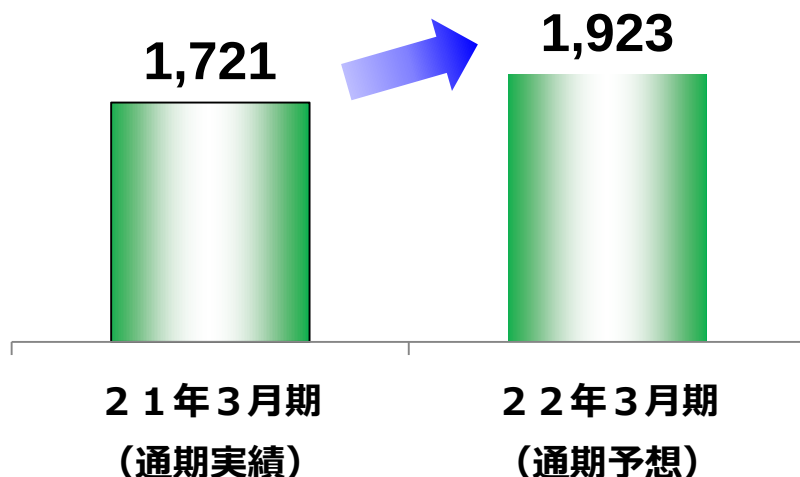
業績が変動するリスク要因

- ◇ L P ガス輸入価格、為替の動向
- ◇ 気温変動による販売数量への影響

産業ガス・機械事業の見通し

売上高

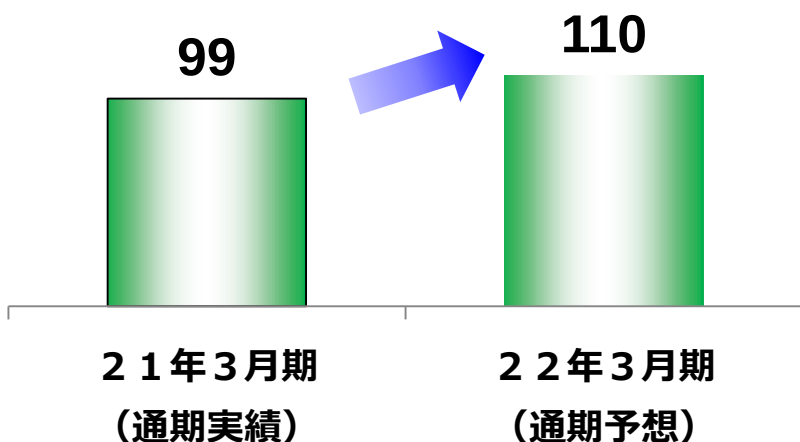
(億円)



※2021年3月期の売上高は、「収益認識に関する会計基準」等を適用したと仮定して算出

営業利益

(億円)



通期業績予想の達成に向けて

- ・成長分野へのエアガスの拡販
- ・液化水素の新規ユーザー獲得
- ・ヘリウムの安定供給
- ・環境関連機器の拡販

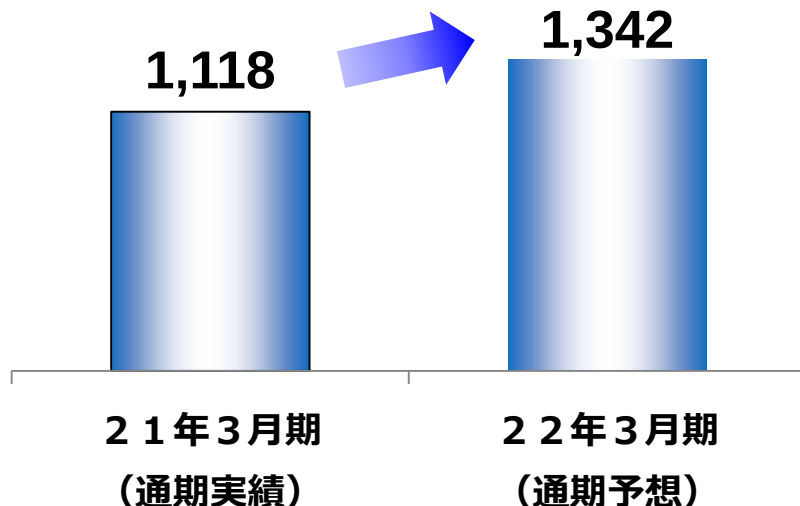
業績が変動するリスク要因

- ◇ 電力料金上昇による製造コストへの影響
- ◇ 為替変動

マテリアル事業の見通し

売上高

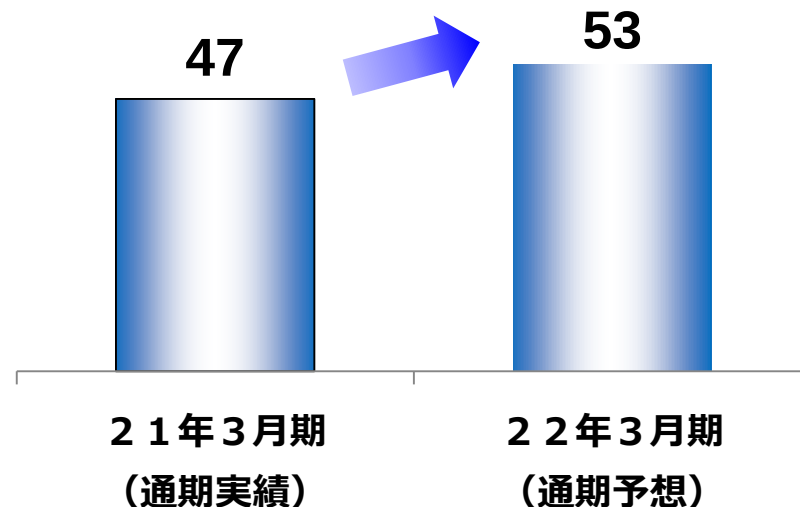
(億円)



※2021年3月期の売上高は、「収益認識に関する会計基準」等を適用したと仮定して算出

営業利益

(億円)



通期業績予想の達成に向けて

- ・低環境負荷PET樹脂の拡販
- ・バイオマス事業の拡大
- ・二次電池材料の拡販

業績が変動するリスク要因

- ◇ 資源市況の変動
- ◇ 為替変動

自然産業事業の見通し

売上高

(億円)

203

284

21年3月期
(通期実績)

22年3月期
(通期予想)

※2021年3月期の売上高は、「収益認識に関する会計基準」等を適用したと仮定して算出

営業利益

(億円)

8

12

21年3月期
(通期実績)

22年3月期
(通期予想)

通期業績予想の達成に向けて

- ・一般消費者向け冷凍食品の開発・販路開拓
- ・種豚の拡販
- ・農業・畜産設備の拡販

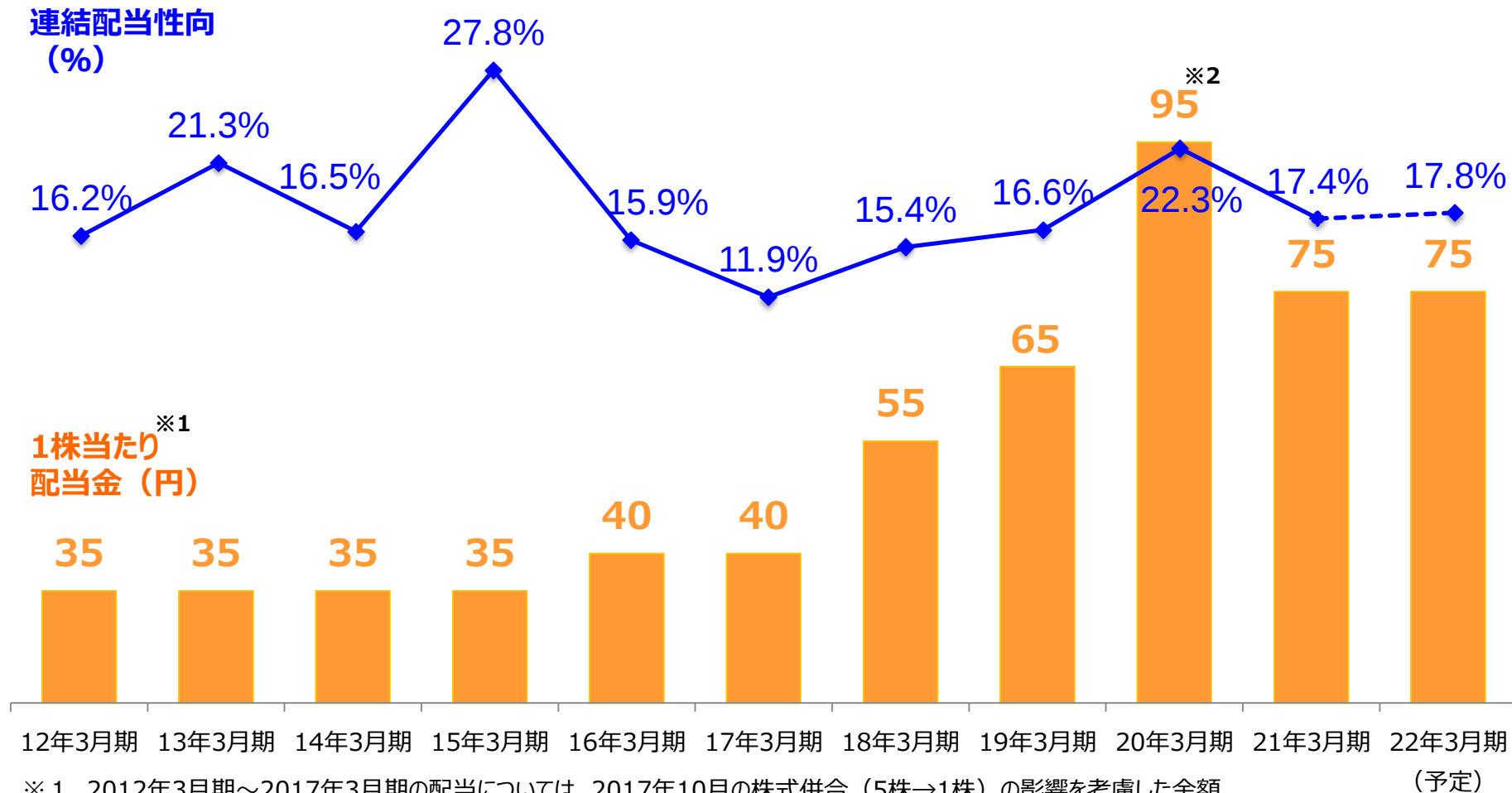
業績が変動するリスク要因

- ◇為替変動
- ◇原材料価格変動
- ◇天候不順

株主還元について（連結）

配当方針

- ・継続的かつ安定的な配当の実施が基本方針
- ・業績や経営環境を勘案しつつ適正な利益還元を実施



P L A N 2 0 の達成状況について

- ・全経営指標の目標を達成
- ・2020年10月に転換社債が全額株式に転換し、資本が増強

【経営指標】

項目	PLAN20 目標値	2020年度 実績	達成 可否
経常利益 [市況要因除く]	330億円	→ 344億円 [326億円]	○
ROE (自己資本利益率)	10.0% 以上	→ 10.9%	○
ネットD/Eレシオ	0.7倍	→ 0.23倍	○

- ・新型コロナウイルスの影響により、産業ガスの販売は苦戦するも、総合エネルギー事業は目標を達成

【重要事業指標】

	2017年度 実績	2020年度 実績	PLAN20 目標値
L P ガス直売 顧客数	90万戸	101万戸	100万戸
国内外 カセットこんろ・ボンベ 販売数量	こんろ 3,333千台 ボンベ 103百万本	こんろ 4,471千台 ボンベ 134百万本	こんろ 4,400千台 ボンベ 137百万本
エアセパレートガス 販売数量	15億m3	15.5億m3	17億m3
液化水素販売数量	59百万m3	67百万m3	90百万m3

事業トピックスについて

各種協議会を通じた、大規模な水素利用の推進



**JAPAN
HYDROGEN
ASSOCIATION**

水素バリューチェーン推進協議会

<活動内容>

- ・社会実装プロジェクトの創出
- ・需要創出・規制緩和等の普及に向けた政策の提言 など

中部圏水素利活用協議会

中部圏の水素需要ポテンシャルを

2025年**4万**トン

2030年**11万**トン と試算

神戸・関西圏水素利活用協議会

神戸・関西圏の2031年の水素の需要
ポテンシャル量を**33万**トン規模 と試算

東京湾岸ゼロエミッション

イノベーション協議会

東京湾岸を世界初のゼロエミッション
イノベーションエリアとする構想を推進

水素ステーションの整備

現在
(2021年5月時点)

国内53カ所 ※一部建設中

北陸圏 2カ所

関西圏 14カ所

中国圏 2カ所

東北圏 2カ所

首都圏 18カ所

中京圏 11カ所

九州圏 4カ所



イワタニ水素ステーション 羽田空港

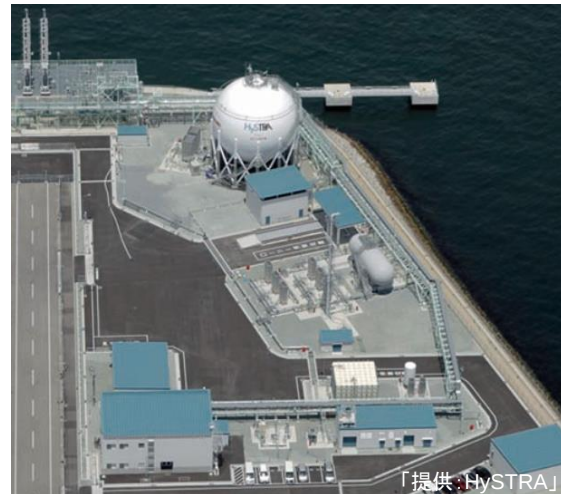


F C V・F Cバスへの充填の様子

CO₂フリー水素への取り組み



豪州側の水素液化・積荷基地



国内の受け入れ基地



液化水素運搬船

イワタニゲートウェイへの取り組みについて

事業化に向けた実証を完了し、順次設置を進める

IoTプラットフォーム イワタニゲートウェイ

ガス警報器に通信機能を付加することにより、さまざまな「モノ」をインターネットにつなぐゲートウェイ（中継基地）として機能する新技術。
この実現により、お客さまの生活を支える新しいサービス・価値の提供を目指しています。



見守りサービス

LPガスや電気・水道メーターと連動し、一定期間使用がない場合や緊急時には配送員などが駆け付けます。

見える化サービス

LPガスや電気などの使用量や料金の確認が、スマートフォンからいつでもどこからでもできます。

健康管理サービス

自治体とも連携し、メーターやウェアラブル端末からの発信により、体調不良時などの通報が可能となります。

IoT家電の使用が便利に

インターネット回線のない世帯でもIoT家電との接続が可能になり、より便利に使用できます。

Iwatani

お問合せ先

岩谷産業株式会社 経営企画部 I R 担当

TEL : 06-7637-3470 FAX : 06-7637-3333 Webサイト : <http://www.iwatani.co.jp>

**将来にわたる部分につきましては、予想に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。
当然のことながら、予想と違う結果と成ることがあることを十分にご認識の上ご活用ください。**